

北海道議会議員

村木中 あたる

道政だより

発行所：北海道議会議員 村木中事務所 発行責任者：若林 利行
〒068-0024 岩見沢市4条西8丁目1番地ヤマシチ4・8ビル3F
TEL(0126)33-6611 FAX(0126)24-6668

みち ひら
道を拓き、
岩見沢を豊かに。

コロナ禍とウクライナ情勢の中での 北海道民の安全・安心な暮らしの為に

いつもご支援いただき誠にありがとうございます。

議員任期の最後の年となり、昨年、議会運営委員会の委員長に選任され、このコロナ禍とロシアのウクライナ侵攻等により、世界が混沌と目まぐるしく変わる中、道政におきましても様々な場面で臨機応変に対応する事も少なくなく、日々気を引き締めております。

6月の第2回定例会において、本年度の補正予算357億200万円が可決されました。引き続きコロナ対策支援とともに、新たな変異株による今後

の影響に合わせた対策も必要となります。

また、コロナ禍やロシアのウクライナ侵攻の長期化に伴う物価高騰の影響への対策も求められます。

日本のエネルギー自給率は約11%と大変厳しい現状であり、これから冬に向けて燃料、電力料等の大きな負担が懸念されます。

このような先行き不透明な現状において、現在、国としては安定的な電力供給の為、9機の原発の再稼働へ向けた前向きな検討に入っているようです。

ただ原発再稼働といっても、ご理解をいただきたいのは、そのための検査や準備の為に約4～6ヶ月程度準備期間が必要となり、数々のチェック項目をクリアし、住民合意があつての稼働であります。

近い将来には再生エネルギーのベクトミックスにシフトしていくという前提ではありますが、現状のLNG（液化天然ガス）等の燃料を輸入に大きく依存する日本のエネルギー事情を含めますと現実的には未だ原発の稼働が必要なのではないかと私は考えております。



次に、地元岩見沢におきまして、有効求人倍率が2020年5月以降、25ヶ月連続で全国、全道平均を上回っております。

これは、農業基盤整備等の公共事業費が大きく寄与されている結果であり、依然、働き手不足の状態は続いておりますが、安定した雇用があつてこそ、除排雪や災害時に地元建設業の方々に地域貢献をお願いできる環境であると再認識いたしました。

前号の道政だよりでもお伝えしましたが、築50年以上の道路、橋梁、トンネル等、インフラの老朽化が進む中、限られた財源ではあります、今後も適時適切な農業、建設業への公共予算の確保というものを継続していくことが重要であると考えます。

北海道議会運営委員会 道外調査(茨城県議会) 2022.5.13



茨城県議会におけるICT化の取り組み状況について意見交換

道議会もデジタル化推進(DX、ICT化)で効率化へ

7月の一斉委員会から、各委員会や本会議場において、タブレット端末が導入されました。議会運営の効率化、ペーパーレス化を目指す目的で、現在はペーパーと併用ですが、ゆくゆくはタブレット端末にて会議日程他、資料等、完全デジタル化となった議会となっていきます。



北海道農政委員会道内調査 2022.5.24~25



北見農業試験場、JAきたみらい玉ねぎ集出荷貯蔵施設で意見交換会



鹿追町「バイオガスプラントとゼロカーボンの取り組み」の意見交換



未来ファーム・インフィールドワイナリーで「肉牛農家によるワイナリーの取り組み」について意見交換



めむろワイナリー(株) 地域活性に向けたワイン生産の取り組みについて説明をしていただきました。



JAとこ「教職員住宅利活用と女性専用研修施設の取り組み、及び漁協連携の取り組みについて」意見交換



オホーツク総合振興局の農山漁村地域整備交付金、農地防災事業の福山23号地区を視察



ホームページ
<https://murakiataru.jp>

さまざまな活動報告を随時アップしております。
お気軽にご覧下さい。



毎日ツイートしています！
道議会の報告や岩見沢での活動等、
タイムリーな情報がわかります。

北海道議会議員 村木中事務所

〒068-0024 岩見沢市4条西8丁目1番地 ヤマシチ4・8ビル3階
TEL(0126)33-6611・FAX(0126)24-6668
info@murakiataru.jp

お近くにお越しの際は、どうぞお気軽にお立ち寄りください。